

犬走工屋製模型としての・・・

RF-401 三相用変圧器

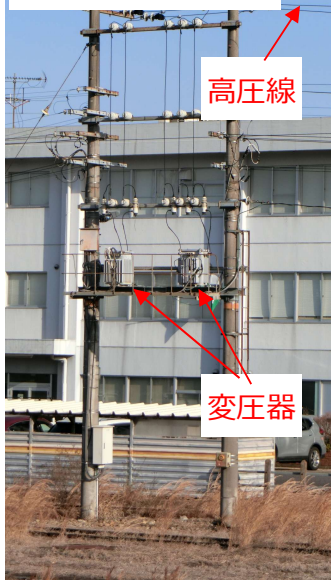
交流電力は一般に単相交流と三相交流があり、機関庫や工場など動力機械（工作機械やターンテーブルなど）の動力源として使用されるのが三相400/200V交流電力です。

変電所などから送られる交流電力は架線柱上部や一般電柱上部に張られた6.6kV高圧線によって配電されますが、これを400/200Vに降圧するのがこの商品で使用される変圧器です。

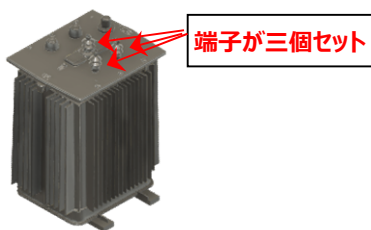
線路わきに良くみられる柱上変圧器台は1個から数個の変圧器を載せた台で、設置目的によりさまざまな形態のものが存在します。

RF-401は三相用変圧器1個と単相変圧器1個が載ったタイプをモデルに製品化しています。

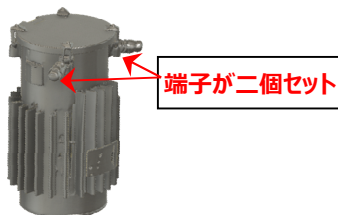
柱上変圧器台の例



美濃太田駅



三相変圧器イメージ



単相変圧器イメージ

なお、鉄道模型趣味誌No.974 2023年3月号に平山貴満氏による「拘りの柱上変圧器台を作る」とした優良記事が掲載されており、本製品の製作および本説明書の参考とさせていただきます。

商品構成

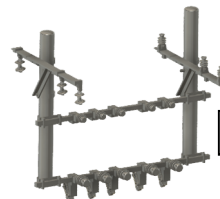
各部品1個ずつ梱包されています。
碍子等破損しやすい部分もありますので
取り扱いには注意してください。



三相変圧器



単相変圧器



三相碍子台



柱：端子箱付

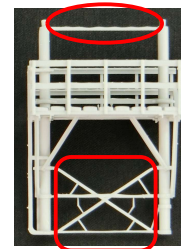
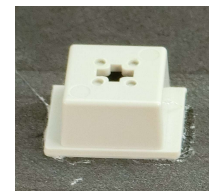


柱：引込管付



変圧器台

柱はKATOユニットラック架線柱用の台座（右写真：台座部分のみ切り取ったもの）に差し込んで固定できるように成形しています。KATO製品の台座を使用して固定するか、柱下部の凸モールドを切り落として接着剤固定して使用してください。



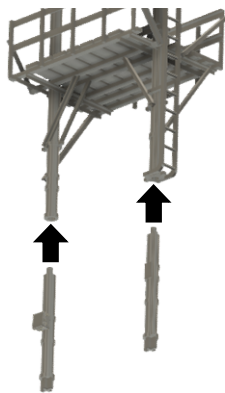
※赤線で囲った部分は形状維持のための補強材です。組立時には除去（ニッパでカットを推奨）してください。

上記構成や名称は模型製品として便宜上付与したものですので
実際とは異なっている場合があります。ご了承ください。

組立方法

- ・組立には接着剤（透明ゴム系、瞬間接着剤等）を使用してください。
- ・柱は差し込み式で組み立てますが、穴がきつい場合には 1.8mm ドリルにて穴をざぐってから差し込んでください。
- ・組立前にサポート痕を除去するときれいに仕上がります。
- ・塗装する場合には塗装と組立の順序をよく検討してください。

①柱の取り付け

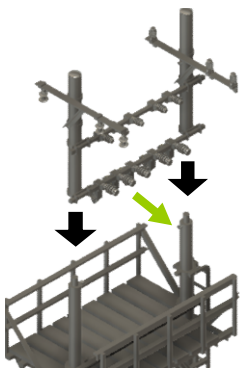


変圧器台下部に柱を2本、下から差し込み取り付けます。

引込管付の柱は点検梯子のある方に、引込管のモールドが真っすぐになるような位置で接着します。

端子箱付の柱はお好みの向きで接着します。
KATOユニットラック用架線柱用台座を使用する場合は台座に仮挿入した状態で接着すると、曲がりを防ぐことができます。

② 碍子台の取り付け

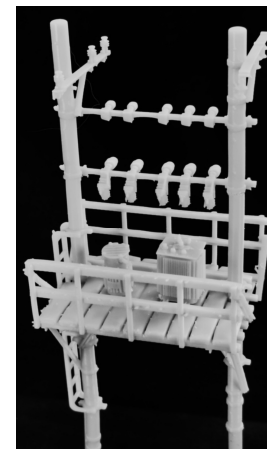
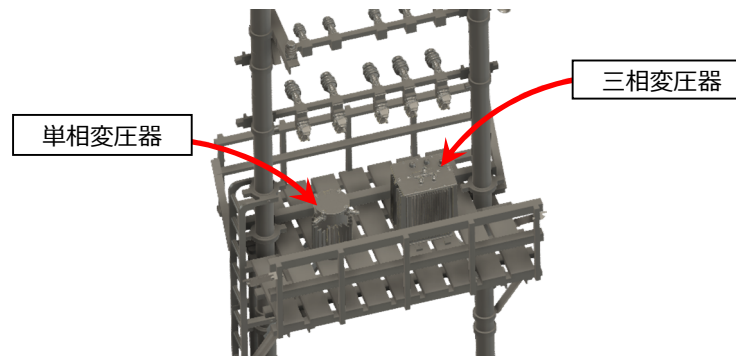


碍子台を変圧器台上部に差し込み接着します。
絶縁碍子側が変圧器台の狭いほうに向くように接着します。



③ 変圧器の設置

変圧器を変圧器台の上に設置します。碍子が3個並んでいる前には三相変圧器を、2個並んでいる前には単相変圧器を置きます。2本の柱間に渡した角棒近くに接着するとよいでしょう。



実物の「柱上変圧器台」には様々な形態が存在します。
組立見本図は一例です。碍子の向き、変圧器の配置や向きなど身近な実物を観察して組立をするとよいでしょう。
また、変圧器端子や碍子と、上部高圧線間に極細エナメル線等で配線するとリアルさが増すでしょう。